

案内

国勢調査票の提出 はお済みですか

10月1日を調査期日とした国勢調査票の提出期限が過ぎています。市の実態を明らかにする重要な調査ですので、未提出の方は、忘れずに提出してください。

●本庁舎企画政策課 内2324

うつ病教室

●日時 12月15日(水)・24日(金)・1月14日(金)・26日(水)／午後1時30分～3時30分
●会場 県南保健福祉事務所 (郭内)

年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動

12月10日(金)～1月7日(金)

【運動スローガン】
「ちょっと待て！！
たった一杯 危険はいっぱい」
《運動の重点》
①飲酒運転の根絶
②夕暮れ時と夜間の交通事故防止
③すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
●本庁舎生活環境課 内2162



『巡礼とさすらい』 白河市長 鈴木 和夫

長年の友人が四国巡礼を終えてきました。全長300kmおよそ45日の旅。足はパンパン、まめはつぶれ、風雨にさらされる難行苦行の道りだったようです。ヨーロッパの若い女性たちと道連れになり、軽やかな足どりの時もあつたとか。しかし巡礼は、裸の自分と向き合い、人生を見つめ直す道ゆきです。この世の中、ひととき心を無にしようと、あるいは救いを求めようと「金剛杖に笠」へ身をよすのでしよう。さて、娑婆に戻ってきた友はどう変わったのか会うのが楽しみです。

キリスト教徒はパレスチナへ、イスラム教徒はメッカへ巡礼します。日本では四国・西国や秩父を巡ります。また物見もかねた伊勢参りは、日本人には欠かせない民族的行事です。江戸時代には講をつくり、代表者がお参りしお札のほかに、大阪京都の文物・はりものみやげに帰りました。そのなごりが、松枝岐の歌舞伎です。江戸の中頃には、伊勢の神官たちが諸国をまわり、参拝する際の旅館の手配など、今の旅行会社さながらの役目も果たしていたとのこと。効率よく巡礼や参拝できるように、江戸の昔から日本には濃密な情報ネットワークができていたことがうかがえます。

人には、さすらいへの憧れや衝動があるようです。「ふるさととは遠きにありて思うもの」と悲しげに浜民村を偲ぶ啄木も、「幾山河越えさり行かば」と酒を道連れに旅する牧水も、さすらい人でしょう。「うしろ姿のしぐれも、さすらいか」やるせない心情がほとばしる漂泊の俳人、山頭火。裕福な造り酒屋に生まれるも、父の放蕩・母の自死、経営の才もなく織細すぎる神経は破産へと続きます。妻子とも

お願い

●対象 うつ病の治療を受けている方の家族
●申込方法 左記に電話でお申し込みください。
●県南保健福祉事務所 ☎25649

ダンボール寄贈

市立図書館では、新館への引越し準備のためのダンボールを必要としています。

特に、左記のダンボールがありましたら、ご協力をお願いいたします。

▽本を入れ運ぶに耐えうる強度をもっているもの
▽汚損、破損がないもの
▽ある程度の大きさのもの(ミカン箱やリング箱等)
●市立図書館 ☎23250

製造業の皆さんへ

経済産業省では、平成22年の「工業統計調査」を12月31日現在で実施します。この調査は、製造品出荷額や原材料使用額などを調査し、工業の

大草川ダム貯水池

この貯水池では、過去に水難事故が発生しています。貯水池周辺は大変危険な箇所が多く、立ち入り禁止区域となつておりますので、関係者以外は絶対に立ち入らないようお願いいたします。

●県棚倉土木事務所 ☎024733131

NTT東日本発行の電話帳を配達・回収します

NTT東日本福島支店では、12月中に順次、新しい電話帳(平成23年1月発行)を各ご家庭・事業所へお届けします。現在お使いの電話帳は、新しい電話帳とお取り替えしますので、配達員へお渡しください。

●申し込み・問い合わせ先
(社)白河・西郷広域シルバールセンター ☎29128

ゆず湯のお知らせ

寒さが厳しくなり、本格的な冬を迎えるこの時期、ゆず湯で体を温めて、元気な毎日を過ごしましょう。

●日時 12月17日(金)～19日(日)／午前10時～午後4時
●場所 中央老人福祉センター「白寿園」(北中川原)
●入浴料 ▼60歳以上 200円 ▼中学生以上60歳未満 300円 ▼小学生以下 100円
●社会福祉協議会 ☎21159

1じごも将棋道場

●日時 1月15日(土)、2月5日(土)・19日(土)、3月5日(土)・19日(土)／午前10時～正午
●会場 中央老人福祉センター「白寿園」(北中川原)
●対象 小・中学生
●参加料 無料(登録要)
●申し込み・問い合わせ先 日本将棋連盟白河支部 遠藤 ☎090-11933-5031

市の事業の進捗状況などについてお知らせします。

お知らせします 市の各種事業

【五箇地区生活基盤近代化事業】

五箇簡易水道事業は、田島・舟田・借宿・板橋地区に水道水を供給しています。この地区の水道管の総延長は約15kmありますが、このうち約5kmは昭和40年代に埋設された古いタイプの水道管です。これらの水道管は耐震性がなかったり、老朽化しもろくなつており、早急に新しい水道管に交換しなければなりません。

このため、生活基盤近代化事業という厚生労働省の補助金を活用し、新しい管に布設替を行います。この事業は、平成22年度から平成28年度までの7か年計画で総事業費は約2億4千万円を見込んでいます。

市民の皆さんに「安全でおいしい水」を安定供給するため、計画的に事業を進めていきます。

●水道部 ☎273221